



令和7年度 高山市立北稜中学校経営構想

《高山市の学校教育の方針と重点》

- 教育の方針：未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成
- 教育の重点：自分らしく、1歩踏み出し、のり越え、挑戦し続ける子
○プレゼン教育 ○キャリア教育 ○ICT教育 ○郷土教育
(授業・活動のキーワード) 主体的・対話的で深い学び ～対話から議論へ～
・一人ひとりの「あこがれ」「やりがい」「できること」を踏まえ

《学校のミッション》

- 個に寄り添う生徒理解を通して、一人一人の居場所づくりと自立を促す支援体制を構築する。
- 地域と連携し、地域に貢献する教育活動（保小中連携、郷土教育）を推進する。
- 高山市のICT推進地区として、先進的なICT活用（情報モラル教育含む）に挑戦する

めざす学校像

学校教育目標「夢 連帯 感動」

自分らしさが 発揮できる学校

～自分をみがく 仲間と共に～

学びづくり〈夢・連帯〉

「動き出す」学習を積み重ねれば、「分かるぞ」「楽しいぞ」

1 学びの深まりを実感できる授業づくり

- (1)生徒が「動き出す」姿の共有と評価（生徒・教員）
- (2)対話を通して自分の考えをつくり、学びを深める教科指導（対話から議論へ：「よく聞き、よく伝え、さらに考える」、対話が充実する授業隊形の工夫）
- (3)個で考える、個でまとめる場の確保

2 目標を達成する自主学习

- (1)目標設定及び計画の立て方・振り返りの見届け
- (2)手帳によるタイムマネジメントの見届け
- (3)個に応じた支援の充実

3 探究的な「北稜 Passion Project」

- 探究サイクルを繰り返した総合的な学習の時間
全校：My Passion Project（個人課題の追究・表出）
1年：郷土を知る（自然・産業・歴史）
県事業：「森と木と水の環境教育支援」：森林伐採体験

験

〈感動〉

感じる人の心(人権)
感じる美しさ(郷土等)対話を通して
自分の考えをつくり
動き出す力
【校区で育てたい資質・能力】

生き方づくり〈夢・連帯〉

「自分の好きなところ、大切にしていることはこれだ」

1 継続した「なりたい自分」づくり

- (1)「なりたい自分」と「自己努力」の宣言
- (2)仲間の生き方から学ぶ場の設定
- (3)自分らしさを表出する場の設定

2 主体的・自治的な特別活動

- (1)やりきった事実を積み上げる指導
- (2)願いと見通しを大切に、生徒に任せる指導
・三行大行事（体育祭、北稜祭、三送会）
・地域貢献活動

3 個に寄り添い、向き合う教育相談（自己選択と自己決定）

- (1)一人一人の居場所づくり（アルプス教室含）
- (2)組織的な教育相談の充実

不登校・いじめの未然防止・初期対応の徹底

- ・いじめ防止基本方針の更新と共有
- ・全職員での情報共有（終礼・毎週・アンケート結果）

家庭・地域との地域 ～社会に開かれた教育課程の実現と郷土教育の推進～

1 家庭との連携

- ・学校だより・各種広報・SNS(すぐー等)による情報発信（掲載目標：月1回以上）・学校公開

2 地域との連携

- (1)地域のゲストティーチャー ・R6例（パン工房・ふるさと歴史館・ジオパーク・飛騨産業・住吉窯・石原嘉和先生 等）
- (2)保小中の連携 ・北稜校区保小中連携の会 ・保小中合同引き渡し訓練（年1回）・北稜地区校長会
- (3)学校運営協議会との連携 ・さわやか登山（R7 乗鞍岳） ・各種検定（英語、数学、漢字）
- (4)独居老人との年間を通じた交流 ・暑中見舞い、年賀状の交流・鉢花届の交流 ・カレンダー届の交流
- (5)たからまちづくり協議会等との連携 ・防災学習 ・福祉教育 ・講演会

教職員の構え

《指導力の向上》 専門性・責任（働きがい）

- ・職員も自ら動き出す（「今年のチャレンジ」はこれだ！）
- ・教科専門性を高める教材研究（指導力向上訪問5回）
- ・職員のニーズを踏まえた職員研修（研修主事を中心に）
- ・深い生徒理解と見届け・価値付け（毎週の生徒理解研等）
- ・素早い情報共有と対応（「その日対応」の心がけ）

《働き方の改善》 心身の健康（働きやすさ）

- ・担任らしさを発揮し、生徒に寄り添う複数担任制
- ・退校時刻18時設定と過ぎる場合の業務内容確認
- ・時間外45時間以内を目指し、月半ばに状況確認
- ・対話と共有を大切にする職員集団（毎週の企画委等）
- ・自分らしさを生かし、支え合う職員集団（メンター制）

対話し
自ら動き出す
職員集団

職員が自ら、自分らしさをみがく！

理想の職場を、自分たちでつくる職員集団！